



航空自衛隊 秋田分屯基地の概要

秋田分屯基地は、東北日本海側の航空救難態勢の充実を図るため、「親基地」である航空自衛隊三沢基地から分かれて置かれる「子基地」の分屯基地として昭和62年に開設されました。

部隊は秋田救難隊及び三沢気象隊秋田気象班が配置され、主な装備品として捜索機UH-125A、救助機UH-60Jの2種類の航空機が配備されています。

# 航空自衛隊 秋田分屯基地

THAT  
OTHERS  
MAY  
LIVE



航空自衛隊 秋田分屯基地の活動

秋田救難隊は、皆様の生命と財産をお守りするため、厳しい訓練を行うとともに、24時間365日の救難態勢を維持しています。航空機による人命救助任務を安全確実に遂行するために、様々な機能毎の各班小隊によって組織されています。

秋田県は日本海に面し、国内でも有数の豪雪地帯であり、雷や霧も発生しやすい地域です。秋田気象班は様々な気象現象を観測、予報し、秋田救難隊等が行う活動に対して、気象支援を行っています。

秋田救難隊

検索